

4 工夫と連携で 産業が躍動するまち

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	農業委員会運営事業			予算 算 科 目	会計	一般会計	01
部 課	経済建設部 農業委員会	局長名	金城 克彦		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業委員会費	01
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	農業委員、農業者			農地法に基づく許可申請、届出書等の審査及び、農地利用状況の調査等を行い、農地利用の適正化を図ります。又農業者年金事業を通じて農業の担い手を確保し老後の生活の安定及び福祉の向上を資します。			
事業の実施内容				予 算 額		決 算 額	
	・ 農業委員報酬			4,917千円		4,850千円	
	・ 農地利用最適化推進委員報酬			2,208千円		2,178千円	
	・ 嘱託職員報酬(臨時職員賃金含む)			2,072千円		1,928千円	
	・ 旅費			829千円		591千円	
	・ その他(消耗品費等)			188千円		176千円	
	・ 委託料			626千円		625千円	
	・ 負担金、補助及び交付金			81千円		81千円	
	合 計			10,921千円		10,429千円	
	○農地法に基づく「許可申請」及び「届出」の状況						
・3条申請(11件) ・4条申請(4件) ・5条申請(31件)							
・3条届出(10件) ・4条届出(22件) ・5条届出(22件)							
							
▲ 農業委員会総会				▲ 現場確認・農地パトロール			
事業の成果	・農地の耕作放棄地解消取組において研修等を実施し遊休地取組の促進強化と解消の推進を図りました。 ・農業者の老後の生活の安定・福祉向上のために農業者年金の加入促進に対する研修や戸別訪問や広報活動を実施しました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,921	10,429		2,746		223	7,460

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名		新規就農一貫支援事業		予算科目目	会計	一般会計	01	
部 課		経済建設部 産業振興課	課長名		金城 克彦	款	農林水産費	06
連絡先		889－4163			項	農業費	01	
目 標		工夫と連携で産業が躍動するまち			目	農業振興費	03	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)				
	就農5年以内の認定新規就農者			新規就農者の就農定着を目的に、経営安定に必要な農業機械・施設等の導入費用に対する費用の一部を助成します。				
事業の実施内容	○対象条件として年齢が65歳未満、就農5年以内であり、年間の農業従事日数が150日以上の方で、農地を取得又は賃借する見込みがあり、認定新規就農者である者としております。							
	・新規就農一貫支援事業補助金							
	予算額 8,000千円 決算額 8,000千円							
	【令和元年度の補助実績】 施設1件(マンゴーハウス) 8,000千円							
事業の実施内容								
								
								
								
事業の成果	沖縄県新規就農一貫支援事業により、1戸の新規就農者に対し、マンゴー栽培のための角鋼パイプハウス1戸(1,080㎡)の施設導入を行いました。							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	8,000	8,000		8,000			0	

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	地力増強対策事業			予算 算 科 目	会計	一般会計	01
部 課	経済建設部 産業振興課	課長名	金城 克彦		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	農家			土づくり用堆肥の購入費補助をすることで農家の負担を軽減するとともに、土地に栄養を与え、作物を育てる力を強くします。			
事業の概要	○地力増強対策事業 予算額 2,962千円 決算額 2,668千円						
	補助基準 ・堆肥購入一袋(15kg)に対し50円の補助			千円 R1土づくり奨励補助金 年間推移			
	☆土づくり奨励補助金 決算額 2,668千円						
	(内訳) 53,363袋×50円＝2,668,150円						
事業の実施内容	千円 地力増強対策事業 年度別実績額						
	農作物を作る上で土づくりは大変重要なものであり、堆肥の購入補助は農家の負担を軽減し、圃場の地力増強も図られ、秀品率の向上につなげることができました。						
事業の成果							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	2,962	2,668	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
							2,668

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	多面的支払交付金			予 算 科 目	会計	一般会計	01
部 課	経済建設部 まちづくり振興課	課長名	仲里 明		款	農林水産業費	06
連絡先	889-4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農地費	05
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	宮城地域資源保全の会 山川地域資源保全の会 神里地域資源保全の会			地域共同で行う農地等の維持管理に補助を行い 地域活性化を図る。(多面的機能を支える農業者 や地域住民、団体等で活動する組織への補助金)			
事業内容	・多面的支払交付金(事業期間:平成29年度～令和3年度) 補助事業 総事業費: 6, 847千円						
	◆令和元年度 予算額:1, 269千円 決算額:1, 268千円)						
実施内容	需用費 100千円 100千円 宮城:386千円 使用料及び賃借料 85千円 85千円 山川:376千円 負担金、補助金及び交付金 1, 084千円 1, 083千円 神里:321千円						
							
事業の成果	 草刈り作業(山川地区)						
	 水路清掃(神里地区)						
事業の成果	水路や農道の補修及び草刈り、清掃等を行い、農地等の維持管理が出来ました。						
	予算の 執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,269	1,268		912			356

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	住宅リフォーム支援事業		予算	会計	一般会計	01	
部 課	経済建設部 まちづくり振興課	課長名	仲里 明	算 款	商工費	07	
連絡先	889－4412		科 項	商工費		01	
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち		目 目	商工振興費		01	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	住宅リフォームを行う町民(自己所有住宅を町内の施工業者を利用してリフォームした場合)		町民の住宅の質の向上を図るため、住宅リフォーム(対象:省エネ、耐久性向上、バリアフリー改修工事)を行う町民の負担軽減を図ります。				
事業の実施内容	住宅リフォーム支援事業補助金 【 予算額 1,173千円 決算額 1,169千円 】						
	・工事費補助金 予算額 1,169千円 決算額 1,169千円 (主な内訳)						
	工 種		件数	金額(千円)			
	省エネ改修工事 (屋根・天井・壁等断熱工事)		5	731			
	住宅の耐久性改修工事 (柱・はり等主要構造部の剥離したコンクリートの除去及び改修等)		0	0			
	バリアフリー改修工事 (通路側の拡幅・段差の解消等)		3	438			
	合 計		8	1,169			
	・通信運搬費 予算額 4千円 決算額 0千円						
	【リフォーム例】						
							
バリアフリー改修工事 施工前		バリアフリー改修工事 施工後					
							
省エネ改修工事 施工前		省エネ工事 施工後					
事業の成果	住宅リフォームを行う町民に補助金を交付することにより、工事費の経済的負担を軽減し、町民の住宅の質の向上に繋がりました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,173	1,169	526	321			322

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名				商工会の育成強化		予	会計	一般会計	01																																													
部 課		経済建設部 産業振興課		課長名	金城 克彦	算	款	商工費	07																																													
連絡先		889－4430				科	項	商工費	01																																													
目 標		工夫と連携で産業が躍動するまち				目	目	商工振興費	01																																													
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)																																																	
	南風原町商工会				地域商工業、中小企業・小規模企業の経済活動を促進し、商工業の健全な発展を図り、それにより地域産業振興と安定、地域経済の発展に資することを目的とします。																																																	
事業の実施内容	○地域人づくり事業 失業者の雇用の場を確保し、生活の安定を図るとともに、委託先企業の成長等により、地域の安定的な雇用の受け皿を創出します。 ・南風原町商工会補助金 予算額 6,804 千円 決算額 6,804 千円 事業実績 ◆経営改善普及事業 ①指導員による経営指導件数 巡回指導 618 件 窓口指導 891 件 創業指導 11 件 ②講習会等の開催 集団 : 経営 5 回 情報化 0 回 金融 0 回 税務 2 回 個別 : 経営 0 回 情報化 4 回 金融 0 回 税務 22 回 ③金融融資斡旋 <table><tr><td>融資種類</td><td>斡旋件数</td><td>貸付件数</td><td>斡旋総額(千円)</td><td>貸付総額(千円)</td></tr><tr><td>沖縄振興開発金融公庫</td><td>22</td><td>22</td><td>22,680</td><td>22,680</td></tr><tr><td>県融資制度</td><td>3</td><td>3</td><td>19,500</td><td>16,500</td></tr></table> ④事務の代行 <table><tr><td>社会保障等</td><td>委託事業所数</td><td>従業員数</td></tr><tr><td></td><td>64</td><td>230</td></tr></table> ⑤記帳継続指導 <table><tr><td>配分人数</td><td>員数</td><td>雇用延日数</td><td>指導延日数</td><td>対象事業者数</td><td>うち機械化数</td></tr><tr><td></td><td>1</td><td>227</td><td>183</td><td>187</td><td>14</td></tr></table> ※うち機械化数はネットde記帳利用者数 ⑥各種共済加入者数 <table><tr><td>各種共済加入者数</td><td>小規模企業共済</td><td>中小企業セーフティ共済</td><td>中小企業退職金共済</td><td>商工貯蓄共済</td><td>商工会福祉共済</td></tr><tr><td></td><td>100</td><td>47</td><td>139</td><td>145</td><td>37</td></tr></table> ⑦講習会・講演会・相談会の実施 開催回数 11 回 参加人数 227 人(延べ) ⑧その他 ◆地域総合振興事業 要請活動、交流会等									融資種類	斡旋件数	貸付件数	斡旋総額(千円)	貸付総額(千円)	沖縄振興開発金融公庫	22	22	22,680	22,680	県融資制度	3	3	19,500	16,500	社会保障等	委託事業所数	従業員数		64	230	配分人数	員数	雇用延日数	指導延日数	対象事業者数	うち機械化数		1	227	183	187	14	各種共済加入者数	小規模企業共済	中小企業セーフティ共済	中小企業退職金共済	商工貯蓄共済	商工会福祉共済		100	47	139	145	37
	融資種類	斡旋件数	貸付件数	斡旋総額(千円)	貸付総額(千円)																																																	
	沖縄振興開発金融公庫	22	22	22,680	22,680																																																	
	県融資制度	3	3	19,500	16,500																																																	
	社会保障等	委託事業所数	従業員数																																																			
		64	230																																																			
	配分人数	員数	雇用延日数	指導延日数	対象事業者数	うち機械化数																																																
		1	227	183	187	14																																																
	各種共済加入者数	小規模企業共済	中小企業セーフティ共済	中小企業退職金共済	商工貯蓄共済	商工会福祉共済																																																
		100	47	139	145	37																																																
事業の成果	南風原町商工会に対し補助金の交付を行い、指導・協力体制の強化を図ると共に、町内企業の育成、経営安定と振興、起業支援、労働者管理改善等を図った結果、地域経済の発展に貢献することができました。																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																															
	6,804	6,804					6,804																																															

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	商品開発・技術力強化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部 課	経済建設部 産業振興課	課長名	金城 克彦		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	南風原町商工会			地域資源の活用や異業種連携による商品開発、ブランド化を図り、販路開拓を行います。			
事業内容	■事業概要 「南風原町の地域ブランド」及び「特産品の認証制度」について話し合い協議を行う組織を形成し、それを元に推薦される特産品やご当地グルメをPRすることで、地域の魅力を広く認知させます。また、地域資源の活用や異業種間連携等による商品開発および企業との連携によって消費者のニーズを踏まえたデザイン性・機能性に優れた南風原らしい特産品や、多くの人々に愛されるご当地グルメの開発を行い、産業展開することを目的としています。						
	■町独自の商品開発・技術力強化事業の実施状況 本年度は食品部門、モノづくり部門それぞれで町内事業者を対象に講習会を開催し、商品開発を行う際の考え方や、流通の仕組み、マーケティング等に関する知識習得を図りました。その結果、地域ブランド認定商品選定委員会において優れた特産品の証である「はえばる良品」として、4品の認定が行われました。						
実施内容	・南風原町地域連携強化事業として、異業種交流を主題として商品開発事業を行いました。 ・南風原町地域ブランド認証事業にて「はえばる良品」4品を認定。 ・販路拡大、マーケティング事業として県内外4回の出展を実施。 ・はえばる良品ホームページの運用。						
	○南風原町地域ブランド推進委員会 委員6名 第1回会議 これまでの取り組みについて、南風原町ブランド「はえばる良品」の推進、運営について 等 第2回会議 良品認定要項について、販路開拓に向けての各認定商品の評価 等 第3回会議 「はえばる良品」認定商品の表彰について 等 第4回会議 事業報告について 等						
実施内容	○商品開発ワークショップ 今年度より食品分野、非食品分野という分類分けを行わず、個別相談を多く行い、認定商品を中心に課題やその対策を検討しました。内容の一部については販路開拓セミナーで招聘した県外のバイヤー(又はその経験者)より助言を得ました。全6回開催。						
	○販路開拓セミナー 県外の百貨店やスーパーのバイヤー等、専門家を招聘し、バイヤーからの目線で百貨店向け、スーパー向けに取り扱ってもらう(販路が開拓できる)商品づくりへの講義を行いました。						
実施内容	○出展実績 県内外のイベント等に出展。しかし名古屋のイベントは新型コロナウイルスの影響で中止となりました。						
	5/23	商工会総会時	参加商品:5				
実施内容	10/25	県商工会特産品フェア「ありんくりん市」	参加商品:3				
	11/4	パシフィック祭り	参加商品:8				
	2/8	ルンルンはえばるフェスタ	参加商品:3				
	2/28	ハッピーママフェスタ(名古屋)	参加商品:－(新型コロナウイルスの影響で中止)				

次ページへつづく →

事業内容

令和元年度「はえばる良品」新規認定商品



01
EMたまご
チーズケーキ
(美ら卵養鶏場)



02
30% 5年古酒「南風原」
premium 720ml
30% 「南風原」
720ml
(瑞泉酒造)



03
はきはらラベンダーバームミニ
おきなわティーツリーバームミニ
(沖縄子育て良品)



04
モリンガ茶
(モリンガファームさんご園芸)

事業成果

本年度は町内事業者を対象に講習会(商品開発ワークショップ)を開催し、商品開発を行う際の考え方や、流通の仕組み、品質管理等に関する知識習得を図りました。また地域ブランド認定商品選定委員会において、4品を優れた特産品の証である「はえばる良品」として認定を行いました。

また、販路開拓においては、美ら卵養鶏場、沖縄子育て良品の両者が商品のブラッシュアップによりイオン琉球の店舗にて常設販売ができるようになりました。

地域資源の活用や異業種連携を図ったことで、参画事業所の商品開発への意識啓発にも繋がり、今後の特産品を通じた本町の発展に寄与しました。

予算の 執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,000	14,531		11,624			2,907

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	観光事業			予	会計	一般	01
部 課	経済建設部 産業振興課	課長名	金城 克彦	算	款	商工費	07
連絡先	889－4430			科	項	商工費	01
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち			目	目	観光費	02
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	町民・観光客			観光振興を効率的に進めるために、観光協会を機能を強化していきます。さらには市町村の枠組みを越えた広域観光を志向していきます。			
事業の内容	○観光振興に必要な通信費や消耗品 予算額 8 千円 決算額 8 千円 ・主な用途 はえるん着ぐるみの管理用品、イベント等の消耗品等						
	○シマじまガイド事業 予算額 10,521 千円 決算額 8,096 千円 着地型観光メニューとして「シマじまガイド(町内名所巡り)」を実施、本町の観光まちづくりを推進しする観光協会に委託しています。 「シマじまガイド」では、訪問客に地元の魅力をあますところなく伝えようと、まち歩きコースを策定し、参加しやすさ、定時出発をキーワードに南風原町内に広く展開していきます。						
	○陸軍病院壕公開活用事業 予算額 4,997 千円 決算額 4,542 千円 県内外から訪れる多くの人々に平和、命について考えてもらう施設として公開活用の取り組みを行い、観光協会に壕のガイドの委託を行っています。						
	○南風原町観光協会補助金 予算額 12,392 千円 決算額 12,392 千円 本町の観光まちづくりや観光振興を推進するため、一般社団法人南風原町観光協会が実施する事業に要する経費を補助金として交付、観光施設の運営や観光宣伝、カンナの花をはじめとする花いっぱい運動、夏まつりキッズパーク、綱曳ツアーなど多彩な活動を行っています。 町観光協会は、自然や歴史、文化遺産を資源とし、それらを活用したさまざまな事業を通じて、自らが住むまちへの関心や認識を深めて郷土愛を育み、地域の活性化に寄与することを目的に観光情報の発信などの事業を展開しています。						
	○観光関連負担金・補助金 ・沖縄観光コンベンションビューロー等負担金 予算額 216 千円 決算額 150 千円						
内容							
	 ■シマじまガイド事業(藍染め体験) ■綱曳きツアー(津嘉山地域振興資料館)						
事業の成果	地域の観光資源の開発や活用を町民参加で行うことにより、本町に対する誇りや愛着を増すことができます。まつりやイベントを通して、地域住民におもてなしの心を育み、コミュニティの結びつきが強まります。観光誘客により、本町の知名度が向上するとともに、地域の活性化に繋がりました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,134	25,188		9,970			15,218

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	南風原町観光PR促進事業			予	会計	一般	01
部 課	経済建設部 産業振興課	課長名	金城 克彦	算	款	商工費	07
連絡先	889－4430			科	項	商工費	01
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち			目	目	観光費	02
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	町民・観光客			南風原町のイメージキャラクターを観光PRツールとして有効活用し、各種イベントや、マスメディアへの出演のほか町内外においてPR活動をしていきます。			
事業の実施内容	【観光PR促進事業】 ○南風原町イメージキャラクター「はえるん」の活用 予算額 3,360 千円 決算額 3,360 千円 南風原町のキャラクター「はえるん」を各種イベントやメディアへのPRをはじめ、観光施設や町民交流スポットなど、町内各所におけるPR活動により観光誘客を促進すると共に、「はえるん」関連グッズの活用促進と、PRキャラクターによる地域活性化を図ります。 (1) イベント等への活用 ・キャラクターをデザインした着ぐるみを町内外のイベントに参加させ、南風原町のPRを行います。 ・キャラクター(着ぐるみ)に入る人件費						
	 ■ 児童館まつり  ■ はえばるフェスタ(イオン南風原)  ■ かぼちゃフェア(くがに市場)  ■ 納涼夏まつり(兼本ハイツ)						
事業の成果	各種イベントやマスメディアへの出演など、町内外におけるPR活動により観光誘客を促進しました。地域活性化を図るためには、町民と行政が一体となって観光まちづくりに取り組んでいく必要があります。親しみやすいイメージキャラクターを活用することでPR効果があがり、より多くの町民の参加や観光誘客ができました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,360	3,360		2,688			672

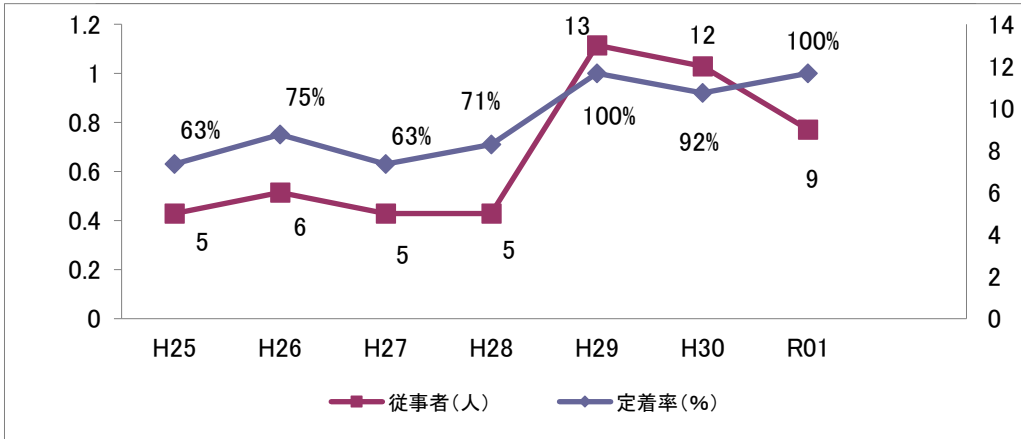
令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	黄金森公園スポーツ施設活性化事業			予	会	一般会計	01
部 課	教育部 教育総務課	課長名	比嘉 純子	算	款	教育費	10
連絡先	889-2620			科	項	保健体育費	06
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち			目	目	保健体育総務費	01
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	町民・町外・社会体育団体			良好なスポーツ・トレーニング環境の提供により、環境と結びつけたスポーツコンベンションの誘致、開催を図るため芝生整備を実施しました。			
事業の実施内容	○黄金森公園陸上競技場の芝生整備を実施することにより、「名古屋グランパス」、「V・ファーレン長崎」の春季サッカーキャンプ、全国高等学校総合体育大会のサッカー競技及び県外大学等の陸上合宿を誘致しました。						
	・令和元年度予算及び決算額						
	委託費(黄金森公園芝生管理) (予算額 10, 008千円 決算額 10, 008千円)						
	【名古屋グランパス春季キャンプの様子】			【名古屋グランパスサッカー教室の様子】			
							
				←【インターハイサッカー大会の様子】 西京高校(山口) 対 四国学院大香川西高校(香川)			
事業の成果	黄金森公園陸上競技場の年間を通した芝生整備を実施することで、名古屋グランパスやV・ファーレン長崎の春季サッカーキャンプをはじめとする、プロスポーツ合宿や大学陸上部の合宿など1, 705人の利用者を誘致することができました。そのことにより、多くの町民がプロスポーツ選手の一流の技術を直接見る機会をつくることができました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,008	10,008		8,006			2,002

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	琉球絣等伝統工芸事業			予算科目	会計	一般会計	01		
部 課	経済建設部 産業振興課	課長名	金城 克彦		款	商工費	07		
連絡先	889-4430				項	商工費	01		
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)					
	琉球絣事業協同組合など			南風原町の特産品である琉球絣の振興を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とします。					
事業内容	○琉球絣事業協同組合が開催する後継者育成事業に対し補助金を交付しました。 ※この事業には国、県からも補助があり、琉球絣事業協同組合も負担しました。 ・琉球絣後継者育成事業補助金 予算額 380千円 決算額 380千円								
									
	▲研修風景			▲閉校式					
	研修内容：機織りを中心に、染色、括りを行いました。研修終了後は各工房の元で琉球絣を織ることになります。								
実績	南風原花織が国の伝統的工芸品に指定され、振興計画に基づく後継者育成事業を琉球絣と合わせて行っています。								
	受講者数及び修了後従事者数の推移								
施策内容		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	合計
	修了者	7	8	8	7	13	12	9	64
	従事者	5	6	5	5	13	11	9	54
	定着率	71%	75%	63%	71%	100%	92%	100%	84%
内容									
	○琉球絣事業協同組合が行う、研修派遣、販路開拓、宣伝活動、展示即売等の経費に対して補助金を交付しました。								
容	・琉球絣事業協同組合への補助金 予算額 3,081千円 決算額 3,081千円								

次ページへつづく →

次ページへつづく →

事業内容の実施内容

事業の成果

○琉球絣事業協同組合は、国、県、町の補助金と組合員の会費でその運営を行っています
が、その補助金等が入ってくるまでの運用資金(生産者への製品である反物代金等)として資金の貸付を行いました。

・琉球絣事業協同組合貸付金

予算額 20,000千円 決算額 20,000千円

○その他

・伝統工芸ふれあい広場事業負担金

予算額 205千円 決算額 205千円

・(財)伝統的工芸品産業振興協会費

予算額 50千円 決算額 50千円

・琉球かすりの女王報酬等

予算額 545千円 決算額 462千円

↑ 沖縄工芸ふれあい広場 ↑

↑ イベントでのPR活動 ↑

単位:反・本・千円

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
着尺・帯	3,675	3,539	3,676	3,534	3,570	3,173	2,716
生産額	259,690	253,310	248,970	232,120	252,880	221,010	193,480
対前年比	8.0%	-2.5%	-1.71%	-6.8%	8.9%	-12.6%	-12.5%

琉球絣生産高及び生産額の推移

(単位:反、本)

着尺・帯

生産額

対前年比

(単位:千円)

後継者育成事業の修了者は引き続き各事業所の織りの担い手となり、かすり生産高安定に寄与することができました。また、かすりの生産においては受注生産が減少し、以前として生産環境は厳しい面がありますが、補助や貸付を行うことによって、琉球絣の振興を図り、地域経済の発展に寄与することができました。

第32代絣の女王においては、各種イベントにて琉球絣のPR活動を行いました。今後も琉球絣、南風原花織の産地として地域の発展と地場産業の育成をおこなって参ります。

予算の 執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	24,261	24,178				20,000	4,178